

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	04	男女共同参画社会の構築
施策	03	家庭生活を男女がともに担うための支援

**目的**

固定的な性別役割分業にとらわれず、男女がともに家庭生活における責任を果たすための意識づくりを推進します。

**対象・手段**

対象：社会一般

手段：男女共同参画のための情報・啓発誌「ウィズ新宿」を発行します。

**施策の方向**

家庭生活における男女平等観の育成と支援策の推進

**基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況**

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
家庭における男女平等感 (%)	(平成10年度) 37%	(平成19年度) 60%	(平成19年度) 40.1%	目標値を19.9ポイント下回りましたが、基準値を3.1ポイント上回りました。
男女平等啓発行事参加者の評価 (%)	(平成10年度) 87%	(平成19年度) 100%	(平成19年度) 91.3%	目標値を8.7ポイント下回りましたが、基準値を4.3ポイント上回りました。

指標名の定義：世論調査等で「家庭生活で平等になっている」との回答割合  
アンケートの肯定回答数 / 全回答数

**成果指標**

指標名	定義	目標水準				
家庭における男女平等感	区政モニターアンケートで、「家庭生活で平等である」との回答割合	(平成19年度)	( )	( )	年度に	
		(60%)	( )	( )	の水準達成	
		( )	( )	( )	年度に	
		( )	( )	( )	の水準達成	
		( )	( )	( )	年度に	
		( )	( )	( )	の水準達成	
施策の達成状況						
	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
施策成果指標	目標値1	%	60.00	60.00	60.00	
	実績1	%	35.70	36.40	40.10	
	目標達成率1 = /	%	59.50	60.67	66.83	
	目標値2					
	実績2					
	目標達成率2 = /					
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	子ども家庭部
-----	--------

**主な取組み**

「ウイズ新宿」の発行(年4回、各5,000部)

**課題**

啓発誌「しんじゅくフォーラム」と男女共同参画推進センター情報誌「ウイズ新宿」を統合し、平成19年度から新たな情報・啓発誌「ウイズ新宿」の発行を開始しました。情報提供と意識啓発を兼ね備えた紙面づくりについて、創意工夫していく必要があります。

また、区政モニターアンケートで、「家庭生活で男女平等である」との回答割合は40.1%であり、引き続き意識啓発を推進していく必要があります。

**評価**

総 合 評 価	
<p>平成19年度から、業者委託により編集を行っていた「しんじゅくフォーラム」と男女共同参画推進センター情報誌「ウイズ新宿」を統合し、区民編集委員会方式による情報・啓発誌「ウイズ新宿」の発行を開始しました。公募区民が編集前に編集講座を受講し、編集の基礎を学び、男女共同参画に対する理解を深めた上で誌面づくりを行うことで、的確に区民ニーズを反映させた男女共同参画の情報・啓発誌を作成しているため、総合評価をBとしました。</p> <p><b>サービスの負担と担い手</b> 本施策は、男女共同参画社会の構築に向け、固定的な性別役割分業観にとらわれず、さまざまな家庭が自立して生活を営み、男女がともに家庭における責任を果たす意識づくりを支援するためのものです。公正な視点を保ちつつ、一般市民の問題意識を取り入れて施策を進めるため、行政と区民の協働で行うことが適切です。</p> <p><b>適切な目標設定</b> 男女平等意識の浸透度を測るための適切な目標を設定しています。</p> <p><b>効果的・効率的な視点</b> 区民と協働することで、効果的に区民ニーズを反映させた情報・啓発誌を作成しています。</p> <p><b>目標の達成度</b> 新たな「ウイズ新宿」は、区民ニーズを捉え充実した内容と、親しみやすい誌面から、区民から好評を得ています。</p>	B

**今後の取組み・改革の方針**

課題を踏まえつつ、編集講座を受講した区民編集委員による誌面づくりは今後も継続し、充実した情報・啓発誌を作成します。編集講座および編集委員会については、より効果的な運営方法を模索します。

この施策は新宿区総合計画の基本施策「 - 1 - 男女共同参画の推進」に引き継いで取り組んでいきます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
男女共同意識啓発のための情報提供	B	146		